

良心教育に関する シンポジウム

同志社女子大学看護学部の教育では、「いのちとくらしに向き合う、揺るぎない信念と良心」を育てることを大切にしています。これは、同志社が約130年前に京都看病婦学校を設立した際、新島襄がその目的として述べた言葉、「病人の心を思いやり、真実の愛心を以て病人の為にする人が入用である」に導かれています。病人の気持ちになって、寄り添った看護をしっかりと実践できる人を育てるようにと示されています。「他者への思いやり」「寄り添うこと」は、現代の看護実践の中でも最も大切なことです。

このシンポジウムでは、まず、看護における「他者への思いやり」「寄り添うこと」について、看護の現場の立場からお話しいただき、ついで「いのちとくらしに向き合う、揺るぎない信念と良心」を育てるとはどういうことなのか、看護の現場、教育、良心教育の側面からご発言いただき、共に考えてみたいと思います。

2019年1月12日(土)

14:00~16:00 (13:30開場) 一般、卒業生、父母、学生、教職員等を対象とする

同志社大学今出川校地 良心館 RY107

事前
申込不要

参加無料

内容

司会者 大学キリスト教文化センター所長 横井 和彦

14:00 挨拶 八田 英二 総長・理事長

14:05 基調講演
看護における「他者への思いやり」を
考える～訪問看護の現場からの発信～



宇野 さつき
医療法人社団 新国内科医院看護師長
がん看護専門看護師

14:35 休憩

14:40 パネルディスカッション
「いのちとくらしに向き合う、
揺るぎない信念と良心」を育てる



◇コーディネータ
岡山 寧子
同志社女子大学看護学部長

◇パネリスト



宇野 さつき
新国内科医院看護師長
がん看護専門看護師



小松 光代
同志社女子大学
看護学部 教授



小崎 眞
同志社女子大学宗教部長
生活科学部人間生活学科 教授

15:30 質疑応答 (30分)

良心教育に関するシンポジウム



宇野さつき (うの さつき)

講師

千葉大学看護学部看護学科卒業。兵庫県立看護大学大学院看護学研究科修士課程修了。未熟児から高齢者、病棟、外来、教育現場と様々な場で働き、3人の子育てをしながら、2006年がん看護専門看護師認定。2006年から現職。2017年12月SGH看護特別賞受賞。



岡山 寧子 (おかやま やすこ)

コーディネータ

聖路加看護大学(現聖路加国際大学)卒業。聖路加国際病院勤務の後、大阪府立看護短期大学、京都府立医科大学を経て、現在、同志社女子大学看護学部教授。専門は高齢者看護学・看護教育学。高齢者の健康長寿への支援に関する研究、近代看護教育史、中でも同志社病院・京都看病婦学校に関する研究などをテーマとする。



小松 光代 (こまつ みつよ)

パネリスト

京都市立看護短期大学、聖路加看護大学(現聖路加国際大学)卒業。同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。看護師、保健師として勤務後、京都府立医科大学医学部看護学科高齢者在宅看護学准教授を経て2015年同志社女子大学看護学部着任、現在に至る。



小崎 眞 (こさき まこと)

パネリスト

同志社大学大学院神学研究科歴史神学専攻博士課程前期修了。San Francisco Theological Seminary (Doctor of Ministry) 修了。同志社女子中学高等学校聖書科教諭、桜美林大学(チャプレン・専任講師)及び桜美林教会(牧師)を経て、2003年4月より生活科学部人間生活学科助教授。2013年4月より同教授、人間生活学科主任、2016年度より現職。日本基督教団正教師。

会場へのアクセス

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

- 地下鉄烏丸線「今出川」駅1番出口から徒歩1分
- 京阪電車 「出町柳」駅から徒歩15分
- バス停 「烏丸今出川」から徒歩1分



お問い合わせ 学校法人同志社法人事務室

TEL 075-251-3006

MAIL ji-hojin@mail.doshisha.ac.jp